

## 第32回

# 「日産・童話と絵本のグランプリ」受賞作品

## 栃木県立図書館へ寄贈

「日産 童話と絵本のグランプリ」は、1984年に創設されたアマチュア作家を対象とした創作童話と絵本のコンテストです。一財)大阪国際児童文学振興財団と協働で実施しているこのコンテストには、毎年全国から約3,000編の作品が寄せられます。日産は童話部門と絵本部門でそれぞれ大賞に選ばれた作品を出版し、全国の図書館(約3,400館)に寄贈しているほか、全国の事業所から、近隣の幼稚園や保育園(約700園)にも寄贈しています。また、この「日産 童話と絵本のグランプリ」入賞作品のレベルの高さには定評があり、現在では、新人作家の登竜門と称されています。



### 受賞作品

#### 童話対象受賞作品

#### 「日曜日の小さな大ぼうけん」

虫嫌いの小学生の男の子が、日曜に留守番をしていると、1匹のカマキリを家の中で見つけました。そのカマキリを家の外に追い払うまでの奮闘ぶりを描いた作品。

#### 絵本大賞受賞作品

#### 「ちかしのなかで」

地下室で探し物をしていた少年が、突然地下室から声をかけられ、外に出られない地下室に外の様子を懸命に伝える少年と地下室のやりとりをファンタジーあられる絵で書き上げ

#### 寄贈式の様子



左から 弊社社長: 廣渡 日産栃木工場工場長: 橋本様  
県立図書館館長: 福田様

この2つの作品はプリンス栃木各店舗のキッズコーナーにございます。是非、お子様と一緒にご覧下さい。

# 「第32回 日産 童話と絵本のグランプリ」出版作品寄贈 栃木県立図書館へ 2作品55セット(計110冊)

～日産栃木工場&日産販売会社～

2月2日(木)栃木工場と日産販売会社は、栃木県立図書館に、「第32回日産童話と絵本のグランプリ」出版作品55セット(計110冊)を寄贈しました。

この活動は、日産自動車が“優れた作品・作家を世に輩出すること”“夢や想像力あふれる童話や絵本を子ども達に届けること”を目的に、昭和59年より大阪国際児童文学振興財団と実施しています。

今年の寄贈式には、栃木工場の橋本修工場長と、日産プリンス栃木販売の廣渡和重社長が出席しました。栃木県立図書館の福田英雄館長は、「魅力的な作品を多くの子どもに読んでもらえるようPRします。」と喜んでくださいました。寄贈した童話と絵本は、同図書館を通じ、県内の公立図書館に配布されます。

また栃木工場は、この他にも、近隣の幼稚園、保育園、福祉団体に約60セットの寄贈を予定しています。

● 栃木県立図書館への寄贈の様子（右から、福田館長、橋本工場長、廣渡社長）

